



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2107 URL <https://www.toyosugar.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大浦 理
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)鈴木 陽 (TEL)03(3668)7871
 定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,407	15.0	1,018	123.7	1,970	257.1	1,513	229.5
2023年3月期	15,131	12.9	455	△29.6	551	△23.7	459	△10.7

(注) 包括利益 2024年3月期 1,654百万円(261.7%) 2023年3月期 457百万円(△10.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	277.48	—	14.3	15.5	5.9
2023年3月期	84.21	—	4.7	4.7	3.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 35百万円 2023年3月期 35百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	13,696	11,152	81.4	2,045.25
2023年3月期	11,851	10,001	84.4	1,834.32

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,152百万円 2023年3月期 10,001百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,480	△125	△507	4,604
2023年3月期	135	△11	△195	3,756

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	190	41.6	1.9
2024年3月期	—	57.50	—	57.50	115.00	627	41.4	5.9
2025年3月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		63.6	

(注) 2024年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円50銭、記念配当15円00銭、特別配当25円00銭
 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当17円50銭、特別配当40円00銭
 2025年3月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円00銭、記念配当15円00銭
 2025年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭、記念配当15円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△2.3	800	△21.5	900	△54.3	600	△60.3	110.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	5,456,000株	2023年3月期	5,456,000株
2024年3月期	3,350株	2023年3月期	3,315株
2024年3月期	5,452,664株	2023年3月期	5,452,687株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期	13,113	15.8	918	170.4	1,864	238.2	1,443	188.2
2023年3月期	11,328	12.4	339	△37.8	551	△5.0	500	22.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	264.74	—
2023年3月期	91.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年3月期	11,541	10,045	87.0	1,842.25
2023年3月期	10,167	9,012	88.6	1,652.93

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,045百万円 2023年3月期 9,012百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 2024年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、生活スタイルの回帰や人流の回復、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の増加など社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、国際的な情勢不安の長期化や中国経済の先行き懸念、原材料価格の上昇や円安の影響等による物価上昇など、景気の下押しリスクによる影響から先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、砂糖の原材料である粗糖価格(ニューヨーク粗糖先物相場)が期初に1ポンドあたり22.35セントで始まり、11月7日には2011年以来約12年振りとなる期中最高値28.14セントをつけた後、当期は22.52セントで終了いたしました。

このような状況下、当社グループは、引き続き安全・安心な製品をお客様に安定的に供給する事に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、次のとおりであります。

砂糖事業

ニューヨーク粗糖先物相場の期近限月は、1ポンド当たり22.35セントで取引が始まり、インドの輸出枠減少への懸念や、原油相場の上昇、ブラジル通貨レアル高により上昇基調で推移しました。7月にはタイにおける天候不良や、エルニーニョ現象を起因とした降水量不足による生産量の減少懸念等により、9月19日には上半期最高値となる27.62セントを付け、10月以降も上昇傾向を引きずり、11月7日には期中最高値となる28.14セントを記録しました。しかしその後は一転、ブラジルでの生産が順調であることや、原油価格の騰勢一服などを背景に12月26日に期中最安値となる20.03セントを記録しました。1月以降はインドの砂糖生産量が前年対比で減少するとの見方からやや上昇気配となり1月下旬には25.00セント付近まで上昇したものの、それも長くは続かず、最終的には22.52セントで取引を終了しました。

一方、日本経済新聞掲載の東京上白糖現物相場は、1キログラム当たり227円～229円で始まり、ニューヨーク粗糖先物相場や円安の進行に伴い7月に12円、1月に10円上昇し、249円～251円で当期を終了いたしました。

このような状況の中、社会経済活動の平常化に伴う需要の回復により販売量が増加したことや、原材料費・輸送費など製造販売経費が上昇したものの製品価格の改定が進んだことから、売上高は15,624百万円(前期比15.2%増)、営業利益は、1,318百万円(前期比64.6%増)となりました。

機能素材事業

販売量は、飲料やサプリメント向け製品の出荷が順調に推移したことに加え、機能性表示食品向けに酵素処理ヘスペリジンとルチンの出荷が好調に推移したことにより前期を上回り、売上高は1,784百万円(前期比13.8%増)、営業利益は343百万円(前期比39.8%増)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高17,407百万円(前期比15.0%増)、全社経費控除後の営業利益は1,018百万円(前期比123.7%増)、一過性の受取配当金841百万円を含む営業外損益は951百万円となり、経常利益は1,970百万円(前期比257.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,513百万円(前期比229.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当期末の資産合計は、現金及び預金や売掛金の増加などにより、前期末に比べ1,844百万円増加し13,696百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の増加などにより、前期末に比べ694百万円増加し2,544百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払などがあるものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ1,150百万円増加し11,152百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の84.4%から81.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ、848百万円増加し4,604百万円(前期比22.6%増)となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは1,480百万円の収入(前期比989.3%増)となりました。

主に売上債権の増加542百万円の計上などがあったものの、税金等調整前当期純利益1,968百万円の計上などがあったことなどによります。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは125百万円の支出(前期は11百万円の支出)となりました。主に貸付金の回収による収入914百万円などがあったものの、有形固定資産の取得による支出69百万円及び貸付けによる支出990百万円などがあったことによります。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは507百万円の支出(前期比159.3%増)となりました。主に配当金の支払502百万円などがあったことによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	80.7	84.2	83.3	84.4	81.4
時価ベースの自己資本比率(%)	55.3	59.2	47.7	41.8	99.9
債務償還年数(年)	0.7	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	425.1	397.2	1,828.9	234.2	3,007.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数を基準に計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

国際的な情勢不安の長期化や中国経済の先行き懸念、物価上昇などの影響により、景気の先行きは不透明な状況が続くものと見られます。

このような状況下、当社グループは、砂糖事業と機能素材事業を軸として、常に安全・安心な製品の提供に努めるとともに、サステナビリティ推進委員会を中心とした人権や地球環境問題をはじめとする社会課題への取り組みや、業務改革の推進を通じて、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

砂糖事業におきましては、企業収益が好調に推移し設備投資や雇用情勢の改善、賃金上昇に伴う個人消費の回復などにより、景気の緩やかな回復が期待されるものの、依然として代替甘味料の影響や甘味離れ等の諸要因により消費量の大幅な回復が見込めない事業環境において、引き続き品質管理を徹底しお客様の信頼に応える商品を提供することを基本とし、業務の効率化を進め、収益確保に努めてまいります。

機能素材事業におきましては、製菓・健康食品メーカー向けに機能性表示食品制度に対応可能な素材提案と用途開発を進めていくとともに、FSSC認証及びISO認証、並びにハラル認証などの各認証を維持し、高い品質基準による製品の供給を継続してまいります。

以上により、次期の連結業績予想につきましては、売上高17,000百万円、営業利益800百万円、経常利益900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円となる見通しであります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益分配は、当社の収益力、財務内容及び経営環境などをふまえ、株主の皆様への利益還元及び内部留保を考慮し決定することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、2024年5月9日開催の取締役会において、1株につき普通配当17円50銭に特別配当40円を加えた57円50銭の配当を実施することを決議させていただきました。これにより中間配当と合わせた年間の1株当たりの配当は115円となります。また、次期につきましては、普通配当金額を1株につき35円から40円に増額し、加えて設立75周年となりますので記念配当金額として1株につき30円を見込んでおります。従い次期年間配当額は1株あたり70円を見込んでおります。内訳は下記の通りです。

	年間配当金額		
	第2四半期末(中間)	期 末	合 計
普通配当	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 40.00
記念配当	15.00	15.00	30.00
合 計	35.00	35.00	70.00

なお、当社は剰余金の配当等については、取締役会の決議により行うことができる旨定款に定めております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務はほぼ日本国内に限定されており、国内でのIFRS(国際財務報告基準)の採用動向などを検討した結果、当面は日本基準を採用する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,756	4,604
受取手形	28	36
売掛金	1,451	1,986
商品及び製品	1,027	1,014
仕掛品	171	213
原材料及び貯蔵品	951	1,175
短期貸付金	914	929
その他	109	87
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	8,396	10,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	356	358
減価償却累計額	△286	△293
建物及び構築物（純額）	70	64
機械装置及び運搬具	945	993
減価償却累計額	△843	△870
機械装置及び運搬具（純額）	101	123
土地	94	94
リース資産	38	35
減価償却累計額	△10	△13
リース資産（純額）	28	22
その他	284	293
減価償却累計額	△259	△272
その他（純額）	25	21
有形固定資産合計	319	325
無形固定資産		
その他	15	9
無形固定資産合計	15	9
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023	1,164
長期貸付金	1,842	1,902
退職給付に係る資産	122	190
繰延税金資産	82	43
その他	54	35
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,119	3,331
固定資産合計	3,455	3,667
資産合計	11,851	13,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	895	1,263
リース債務	5	5
未払法人税等	33	289
契約負債	0	0
賞与引当金	73	83
未払金	42	19
設備関係未払金	4	9
その他	367	466
流動負債合計	1,424	2,139
固定負債		
リース債務	26	20
役員退職慰労引当金	43	39
退職給付に係る負債	333	321
資産除去債務	1	1
その他	20	22
固定負債合計	425	405
負債合計	1,850	2,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	6,966	7,974
自己株式	△4	△4
株主資本合計	9,865	10,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	183
繰延ヘッジ損益	0	8
退職給付に係る調整累計額	37	84
その他の包括利益累計額合計	135	277
純資産合計	10,001	11,152
負債純資産合計	11,851	13,696

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,131	17,407
売上原価	13,088	14,673
売上総利益	2,042	2,734
販売費及び一般管理費		
販売費	534	537
一般管理費	1,052	1,178
販売費及び一般管理費合計	1,587	1,715
営業利益	455	1,018
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	15	855
持分法による投資利益	35	35
為替差益	16	21
その他	2	9
営業外収益合計	98	953
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	1
営業外費用合計	2	2
経常利益	551	1,970
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産売却損	16	-
固定資産除却損	-	2
特別損失合計	16	2
税金等調整前当期純利益	535	1,968
法人税、住民税及び事業税	80	479
法人税等調整額	△3	△23
法人税等合計	76	455
当期純利益	459	1,513
親会社株主に帰属する当期純利益	459	1,513

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	459	1,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	85
繰延ヘッジ損益	0	8
退職給付に係る調整額	△6	47
その他の包括利益合計	△1	141
包括利益	457	1,654
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	457	1,654

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,904	6,697	△4	9,597	93	0	43	137	9,735
当期変動額									
剰余金の配当		△190		△190					△190
親会社株主に帰属する 当期純利益		459		459					459
自己株式の取得			△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					4	0	△6	△1	△1
当期変動額合計	-	268	△0	268	4	0	△6	△1	266
当期末残高	2,904	6,966	△4	9,865	97	0	37	135	10,001

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,904	6,966	△4	9,865	97	0	37	135	10,001
当期変動額									
剰余金の配当		△504		△504					△504
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,513		1,513					1,513
自己株式の取得			△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					85	8	47	141	141
当期変動額合計	-	1,008	△0	1,008	85	8	47	141	1,150
当期末残高	2,904	7,974	△4	10,874	183	8	84	277	11,152

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	535	1,968
減価償却費	66	74
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	10
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△10	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	△7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11	△3
受取利息及び受取配当金	△43	△887
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△35	△35
有形固定資産売却損益 (△は益)	16	△0
無形固定資産売却損益 (△は益)	-	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△239	△542
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27	△252
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4	367
未払金の増減額 (△は減少)	27	△24
その他	15	145
小計	314	816
利息及び配当金の受取額	43	906
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△221	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	135	1,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39	△69
有形固定資産の売却による収入	60	0
無形固定資産の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	4	-
貸付けによる支出	△910	△990
貸付金の回収による収入	885	914
保険積立金の解約による収入	-	27
その他	△8	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△190	△502
リース債務の返済による支出	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195	△507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△71	848
現金及び現金同等物の期首残高	3,827	3,756
現金及び現金同等物の期末残高	3,756	4,604

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社は、事業(製品等)の種類別セグメントを構成単位とした「砂糖事業」「機能素材事業」の2事業を報告セグメントの区分としております。「砂糖事業」は精製糖などの製造・販売、「機能素材事業」は食品飲料素材及び化粧品素材などの製造・販売を行っております。

これらの構成単位は、それぞれ包括的な戦略のもと事業を展開しており、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等にて定期的に経営資源の分配の決定及び業績を評価する対象となっているものであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,562	1,568	15,131	—	15,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	△1	—
計	13,564	1,568	15,132	△1	15,131
セグメント利益	801	245	1,046	△591	455
セグメント資産	6,852	1,145	7,998	3,853	11,851
その他の項目					
減価償却費	11	40	52	13	66
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1	38	39	9	49

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額と同費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,623	1,784	17,407	—	17,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	△1	—
計	15,624	1,784	17,408	△1	17,407
セグメント利益	1,318	343	1,662	△643	1,018
セグメント資産	7,699	1,305	9,005	4,690	13,696
その他の項目					
減価償却費	25	38	64	10	74
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	39	32	72	7	80

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額と同費用に係る償却額が含まれております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,834.32円	1株当たり純資産額	2,045.25円
1株当たり当期純利益	84.21円	1株当たり当期純利益	277.48円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計	10,001百万円	11,152百万円
普通株式に係る純資産額	10,001百万円	11,152百万円
普通株式の発行済株式数	5,456,000株	5,456,000株
普通株式の自己株式数	3,315株	3,350株
1株当たりの純資産額の算定に用いられた 普通株式の数	5,452,685株	5,452,650株

(2) 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	459百万円	1,513百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	459百万円	1,513百万円
普通株式の期中平均株式数	5,452,687株	5,452,664株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。